

TRICOLOR

新年度スタッフ&学年幹事

【サッカークラブコーチングスタッフ】

カテゴリー	担当
幼児・小1	小野
小2	鞍川
小3	鈴木
小4	佐藤
小3・4(平日)	内田
小5・6	益子/丸山
小5・6(平日)	二木
小学生 アシスタント	高田/川島/浜野
Junior Youth	二木
Youth	内田
GK コーチ	長嶋
Top	二木
Papas	茅野/浜野/中山
Mistral	内田

【学年幹事】

カテゴリー	学年幹事
幼児・小1	未定
小2	西名さん/吉瀬さん
小3	田近さん/那須さん
小4	後藤さん/若下さん
小5	佐野さん/木本さん
小6	中嶋さん

横浜市春季少年サッカー大会について

新年度早々、早ければ4/7(土)から、「第34回横浜市春季少年サッカー大会」が始まります。この大会には、小学4年生が2チーム、小学6年生(人数の関係で5年生からも数名参加)が1チーム参加します。保護者の皆様には積極的な応援をお願いしたいと思いますが、この大会に限ったことではなく、試合時の応援方法についていくつか注意していただきたいことがあります。

応援者に徹し、暴言や選手への指示は一切おやめください。

主催者の(社)横浜サッカー協会からの指示でもありますが、保護者の皆様は応援者に徹し、暴言を慎むことはもとより、マナーのよき模範者であってください。また、試合中の選手への指示は一切せず、担当コーチにお任せください。ルール上指示のできるコーチはその都度1名に限られていますし、指示を与えすぎると自分で考えることをしなくなってしまうばかりでなく、混乱のもとにもなります。

す。「自分で考える」「判断をする」習慣づけのためにも、ご協力をお願いいたします。

選手たちが力を発揮できるような応援をしてください。

「がんばったら褒める」「ミスしたら励ます」ように応援してください。公式戦の雰囲気であがってしまうことはあっても、ミスしたくてしている子はいません。伸び伸び普段の力が発揮できるような雰囲気づくりをお願いします。

応援場所・駐車場・喫煙等については、会場提供チームの指示を遵守ください。

なお、会場周辺での路上駐車は一切禁止となります。守られない場合、厳罰が適用され最終的には子どもたちに迷惑がかかることとなります。

以上、くれぐれも宜しくお願いいたします。

ヨーガ金曜クラスご案内

大変好評をいただいておりますヨーガですが、金曜日のクラスには少し余裕がありますのでご案内いたします。ご希望の方は下記ご覧の上お申し込み下さい。

開催日

- * 5月:11・18・25
- * 6月:1・15・22・29 (8日はお休み)
- * 7月:6・13・20

(予定)(金曜日・全10回)

時間 19:20-20:20

会場 白幡地区センター

定員 20名 中学生以上対象(小学生以下の方は入場できません)

参加費 9,000円(全10回分を前納)

申込方法 4/30(月)までに下記申込先までメールでお申し込み下さい。定員を超えた場合は抽選にて決定させていただきます。

参加費は決定通知とともに納入方法をお知らせします。

定員に満たない場合は1回1,000円での受講が可能です。お問い合わせください。

申込先

shtyoga@cpost.plala.or.jp

「ヨーガ金曜クラス受講希望」

「お名前」を明記ください。

問い合わせ



クラブ事務局・内田まで
 045-370-3390
 uchy@ebony.plala.or.jp

大会・公式戦結果

Top

【県社会人選手権決勝トーナメント】

3 回戦

vsYMCA スポーツ専門学校 6-1

準々決勝戦

vs 六浦 FC 1-0

準決勝戦

vs 横浜 GSFC コブラ 0-3

Youth

【県クラブユースリーグ】

vs 海老名 FC 3-2

小 4

【マクドナルドかもめ杯】

予選リーグ

vs かもめ A 1-1

vs トータス 1-1

3 チーム中第 2 位で 2 位リーグへ

2 位リーグ

vs かもめ B 1-0

vs 横浜すみれ 0-1

9 チーム中第 5 位

今、グラウンドでは・・・

Top

【県社会人選手権ベスト 4 !】

Top チームが 2 月から 3 月にかけて戦った神奈川県社会人選手権が終了しました。チームとして初めてベスト 4 となった昨年に続き 2 年連続の進出となりましたが、準決勝では横浜 GSFC コブラに破れ、またも決勝進出の夢は果たせませんでした。しかし、ベスト 4 まで勝ち進んだことで得られる天皇杯神奈川県予選の出場権を獲得できたことは良かったと思います。今年のお天杯県予選では大いに暴れてやります!

【県リーグ開幕】

平成 19 年度の県リーグ開幕戦の日程が決定しました。

現在は、そこに照準を合わせ、真弓一弥新キャプテンを中心に練習に取り組んでいま

す。今年は県リーグ上位進出も狙えるチーム構成になったと思います。1 部リーグ 6 年目となるシーズン。まだ 1 度も開幕戦での勝利がありません。今年こそ何とか勝点 3 を獲って開幕ダッシュをかけたいところです。

期日	4 月 29 日(日)
会場	海の公園なぎさ広場
キックオフ	18:35(90 分ゲーム)
対戦相手	六浦 FC

【市民大会決勝戦】

3 月 25 日(日)は「横浜市民大会決勝戦」となりました。県の決勝戦でないのは残念ですが、気持ちを切り替えてしっかりとタイトルを獲り、県リーグ開幕戦につなげていきたいと思えます。皆さんの熱い応援よろしくお願います!

会場	三ツ沢公園陸上競技場
Kick Off	13:15(70 分ゲーム)
対戦相手	SALVATORE1991
注意事項	当日隣接の球技場にて 19:00~J リーグヤマザキナビスコカップ「横浜 FC×ジュビロ」の試合が開催されるため、正面駐車場は関係者専用となり、近隣の有料 P も混雑すると思われるのでご注意ください。

(樋口 圭太)

Youth

やっと勝てました! 本当に久しぶりの公式戦勝利です(県ユースリーグで海老名 FC に 0-2 からロスタイムでの逆転で 3-2 の勝利)。こう書くともう弱いなというレッテルを貼られてしまいそうですが、試合で勝てないのであれば確かに弱いのでしょう。サッカーというスポーツの性質上判定勝ちというのはありませんから、負けは負けとして受け入れなければなりません。しかし、毎回毎回ボール支配率やシュート数で圧倒しながら点を奪うことができず、結果だけが世に広まってしまいます。それがクラブやチームの評価となってしまうことが悔しく、自分自身にも腹立たしいものを感じていました。勝てないことにより選手たちから自信が奪われてしまうことも問題でした。

それでも勝つための特別なトレーニングは行いません。今までトレーニングしてきたことを試合で発揮するだけです。勝つための方法はいくらでもあります、選手の将来

を考えるとそれが一番とは思えません。必要なことを必要な時に指導しなければなりません。

今回は内容でもいつもどおり相手を圧倒し、結果も得ることができました。正直少しほっとしながらも、やっぱりうれしいです。たかが一勝しただけで何を大げさな、と思われるかもしれませんが、ずっと報われないでいて、やっと陽の目を見れた思いなのです。本当に一人ひとり素晴らしい選手なのです。

3 年生は本当にお疲れさまでした。伝えたいことや理解してもらいたいことはもっとたくさんあるのですが、それでも限られた時間、厳しい環境の中でよくやってくれました。これから先それぞれ進む道は違っていても、かながわクラブでサッカーをしていたことに、多くの仲間を支えられていたことに、そして自分自身に誇りを持ってください。皆さんの今後の活躍を期待しています。Top で、あるいは Papas で、ひょっとしたら日産スタジアムのピッチで、また会いましょう!(内田 佳彦)

Junior Youth

3 年生のみなさん卒業おめでとうございませう。高校生になってユースに上がる人、部活に行く人と、それぞれに進む道は違うと思いますが、ジュニアユースと一緒に戦った仲間は今後も大切にしたいと思えます。

ジュニアユースに入ってきたばかりの頃と比較すると今ではあらゆる面で大人になってきたと感じる 3 年生。今までついてきてくれた選手たちには本当に感謝しています。そして、最後までクラブに対しご理解をいただき、子どもたちにサッカーを続けさせてくれたお父さんお母さん本当にありがとうございました。

(二木 昭)

小 5・6

突然ですが、みんなはヨハン・クライフという人を知っていますか? 選手としても監督としても伝説を残しているのだから、きっと名前は聞いたことあるんじゃないかな。彼は著書の中で、対戦してきた選手について面白いコメントを残しているのだから、その一部を紹介したいと思います。

狡猾な天才ベッケンバウアー・・・90%の選手はできないことをやろうとする。ほんの 10%の選手だけが、自分にできることとできないことをきちんとわきまえて

いる。これは攻撃にも守備にも言える。要は、常に状況を把握し、的確な状況判断をするということだ。そういう意味で私の偉大なる友、フランツ・ベッケンバウアーほどのプレーヤーはいなかった。彼の試合はいろいろ見せてもらったが、どれも見事なプレーばかりだった。本当に素晴らしいプレーヤーだったと思う。

皇帝ベッケンバウアーはどこがすごかったのか？答えは1つ、チームにとって常にベストの判断を下せたことだ。彼は抜群に頭がキレた。明確な頭脳で計算し、解決策をはじき出す賢い男だ。彼が観客席にボールを蹴り出すのを何度も見たことがある。そのたびに私は独り言を言った。「珍しいな。何であんなにうまい男が、あんな遠いところに蹴り出すんだらう」答えは、数時間後に試合のビデオを再生し、その時の選手たちの状況を見ればわかる。「なるほどベッケンバウアーは正しかった。確かにそうするのがベストだった」これはベッケンバウアーのすごさを物語るほんの一例にすぎない。彼は常にプレーしようとしていた。それも簡単に、だ。これが実は非常に難しいのである。彼は攻撃でも要だったが、特にディフェンスでは信じられないようなプレーを見せた。

私は、ベッケンバウアーとは何度も戦い、大方の試合には勝った(74年のワールドカップ決勝では負けている)が、彼の狡猾なプレーにはいつも驚かされた。彼の巧さの秘訣はここぞというタイミングでの絶好のポジショニングにある。ベッケンバウアーに追い込まれて、出口をふさがれてしまったとする。突破口はただ1か所。しかし、だ。その方向に出て行けば彼の思うつぼ。待ってましたとばかりにボールを奪われてしまうのだ。彼は、まったくとてつもないプレーヤーだった。私は完璧なバランスのとれたプレーヤーが好きだが、ベッケンバウアーはまさにそういうプレーヤーだった。

『フットボールと私』より

レンタルビデオ店のスポーツコーナーには、二人の現役時代の記録があるかもしれません。興味を持った人は、天才同士の対決を

ぜひご覧ください!!(鈴木 章弘)

小 4

【1年間ありがとうございました。】

本年度も一年間ありがとうございました。保護者の皆様のご支援とご協力に感謝致します。今後もかながわクラブのため、引き続きご支援の程よろしくお願い致します。思い返せば、本年度は春のリーグ戦から始まり、秋には、保護者の方の審判資格取得のご協力により、かながわクラブ史上初の2チームエントリーでの公式戦参加することができました。保護者の方々にとっては納得のいく結果ではなかったかもしれませんが、サッカーの内容だけではなく子供達はそれぞれ感じ、成長することができた大会だったと思います。また、この大会を通して感じたことを、その後、練習や試合でも持ち続け、活かしていたと感じることができ、充実した1年がおくれたと思っております。この思いを来年度も持続し成長してくれること期待しております。

【来年度もよろしくお願い致します】

新5・6年の担当コーチとなりましたので、引き続き1年間よろしくお願い致します。毎年のことですが、5・6年生の公式戦は選抜メンバーでの参加となります。選抜に選ばれた人は当然自分が持っているベストを尽くし頑張り、今以上に成長しなくてはならないと思えますし、選抜に選ばれなかった人は選ばれなかったからといって悲観する必要はありません。今の自分の課題を見つけ、それを一つ一つ練習していけば必ず上手くなりますし、サッカーがよりいっそう楽しくなること間違いなしです。サッカーは今年一年で終わる訳ではないので長い目で成長して行けばいいと思います。

【新6年生および保護者の方々へ】

来年度から新5・6年生を担当させて頂くことになりました益子です。小学生最後の1年間という重要な時に担当をさせて頂けることになり、私自身、身の引き締まる思いです。いろいろ至らない点があると思いますが、保護者の皆様との会話の場を増やし、子供を預けてくださる保護者の皆様に少しでも報いるよう努力していきたいと思っておりますので、ご支援、ご鞭撻の程、お願い致します。小学生最後の年ということもあり、今年1年間は勝ちにこだわったサッカーをしたいと思っております。

す。多少厳しいことを言うこともありますが、負けない気持ちを持つことは、この時期に必要と考えております。ご理解の程、お願い致します。また、大小関わらず疑問点や不明点がありましたら、気兼ねなくお声をかけてください。それでは1年間よろしくお願い致します。(益子 伸孝)

小 3

【公式戦に参加するにあたって!】

昨年の11月に行われた懇親会のときにもお話しさせていただいたように、かながわクラブでは4年生の公式戦についての位置づけを、在籍するすべての子どもたちに公式戦という貴重な経験をさせる場と考えています。もちろん公式戦ですから、かながわクラブの4年生を代表する選抜チームを出場させるという考えもあります。しかし、サッカーを始めて僅か5~6年の間についた差というのは決して大きくはありません。この時期に選抜してレッテルを貼ることで子どもたちが一喜一憂し、悲観して将来の望みを失ってしまったり、逆に勘違いをして天狗になり将来の可能性を狭めてしまったりする恐れも十分に考えられます。

ハンドブック等にもありますように、かながわクラブでは、長期的な視野に立ち、各年代ごとに子どもたちの成長の度合いを考えながら、その時期に最適な指導をしています。もちろん、最終的には日の丸を背負ってくれるような選手の育成を目標としているわけです。具体的には、3年生(小学校低学年~中学年)までは、「サッカーを大好きになってくれること」と「蹴ること・止めること・ドリブルをすること」を最優先に考え、試合の勝ち負けよりも徹底して個々の技術の向上に主眼を置いてトレーニングを積んできました。各カテゴリー(SL, LL, L)ごとに1~2年で結果を出すチーム作りをしてきたわけではないのです。

ですから、3月の更新時に在籍している子どもたち24人を、12人ずつに分けて、しかも個々の子どもたちがボールに触れる回数の多い8人制の部にエントリーすることになっています。春はフラットに分けた2チームで参加し、秋には技術・意欲により分けた2チームで参加することになっています。お父様、お母様方には、こうしたことをご理解いただくと

ともに、いつもながら引率や審判等へのご協力をよろしくお願ひします。

【公式戦でのテーマは？】

先月号にも書かせていただいたように、試合をすると、それまで練習してきたことがどれくらい子どもたちの中で消化され、そして身につけているのかということの確認ができます。これは公式戦であっても同じことで、春の公式戦に際しても、これまでと同様に目の前の相手をおかわしてからプレーをすること、

相手の逆襲に対してどう守るのかを考えることのテーマに加えて、ドリブルで抜けないときにはどうするのかを考えることを新たに加えます。

に関しては、相手も味方もたくさんいる中でドリブルを始めると、前にはなかなか進めません。もちろん、意図のないキック(めっちゃ蹴り)は言語道断です。周囲を見ながら、落ち着いて相手をおかわしてからプレーをしましょう。に関しては8点取られて大敗したときの試合を思い出してみると良いと思います。こちらがボールに集まれば集まるほど長いボールを蹴られると追いつくことが不可能で、ハーフライン上で待っている相手へのロングパスが通されたら、まったく術がありません。ボールを奪われた人はまず何をするのか、あるいはボールを奪われたときのことを考えてプレーをしている人はいるのか等々。

に関してはそろそろ意識してほしいことです。自分がフリーなのに、安易にパスをしるということでは決してありません。この公式戦では、積極的にドリブルで仕掛け、多くの失敗を経験しながら、ドリブルで相手を抜くそうにないときには、どのようなプレーを選択すべきかを、身をもって覚えていって欲しいと思います。

せっかく公式戦に出場するので、各試合に自分なりのテーマを持って臨むことも良いと思います。自ら意識しなければ、課題や問題点は見えてきません。そして、課題や問題点が確認できたらそのままにしておかず、練習や次の試合の場面で、それを修正するための努力をしましょう。

最後になりましたが、この一年間のお父様、お母様方のかながわクラブに対するご理解、ご協力に対して、心よりお礼を申し上げます。そして来年度も新4年生を引き続き担当す

ることになりましたので、これまで以上にご理解とご協力をお願い申し上げます。特に最近若年性痴呆症ではないかと思われるくらいにボケていまして、引率の時に往復ともに自動改札の切符が取れずに往生したことがありました。同じ日には、解散の後で、菊名駅から快速に乗ってしまい、下車駅の小机駅を通り越し、鴨居駅まで行って戻ってきたことも付け加えておきます。こんな指導者ですので、皆様方のご支援ご協力が不可欠です。また一年間よろしくお願ひします。

(佐藤 敏明)

小 2

私がこの学年を担当してから練習の中でいつも大切にしていたことは「サッカーを大好きになつてもらう」ということでした。子供たちにとってサッカーは遊びのひとつであり、無理やり強制されてやらされるものではなく、楽しいものでなければならないということをもっと行って参りました。サッカーを楽しむと感じることによってサッカーを続けていく原動力になります。私は子供たちに生涯を通じてサッカー、そしてスポーツと付き合っていってほしいと思っています。ぜひこれからもサッカーを楽しみ、さらに大好きになってほしいと思います。

保護者の方々にはこの2年間大変ご迷惑をおかけしました。また、練習や試合でもいろいろとご協力していただき心から感謝いたします。

4月からはメインを退きますが、皆様とはまた違った形でかかわっていけると思ひます。またよろしくお願ひします。(井岡 靖貴)

幼児・小 1

【06年度総括】

なんだか、寒くなりましたね。アフリカより漸く帰国しました。現地は40度ちかい温度で、熱風に乾燥した気候。日本帰国当日、あまりの寒さにびっくりです。たしか、日本を発つた時は、春めいた陽気で、夏のジャケットで十分だったのに。この季節は変わりやすい気候と、花粉で鼻にきつ～い季節ですので、皆様ご養生下さいませ。また、3月末は拳式の為、暑い国へいくので、クラブの練習には残念ながら参加出来ません。なので、すでにシーズン終了…。今シーズンは全然練習に参加出来ませんでしたので、総括が難しいといった状況です。ただ救いは小野コー

チと一緒に出来たこと。そして、教え子が少しずつづまくなっていること。大体の子供の特徴を把握できたこと等々、わずかではありますが、収穫があった年だったと思ひます。来年はアシスタントコーチとして各年代に参加すること(新1年、2年を中心に)することになったので、気分一新で、積極的に参加しようと思ひています。(川島 浩司)

Papas

【2006年度を振り返って】

本紙の編集者から今号は本年度を振り返って書くようにと編集方針が出たのですが、もうPapasは何回も振り返ってしまったので、これ以上振り返ると前を向いてしまいますので(笑)、ここは独断と偏見でサッカー界を振り返って小生の感じたままを書くこととしました。御笑覧あれ。

2006年度はもう記憶が遠くなってしまった方も多いかも知れませんが、FIFAワールドカップドイツ大会の年でした。それぞれの方がそれぞれの感慨や感想を持たれたこと思ひます。私も、素晴らしいプレーの数々や想定外の結果に驚いたり感動したり大変楽しかった一方で睡眠不足の日々でもありました。そうした試合の経過や結果以外に私個人が感じたことは、2002年の日韓大会と比べて欧州ではやっぱりサッカーは文化なんだと感じましたし、試合前の横断幕から人種差別が欧州においても未だに厳しく深いものがあることを知りました。ジダンの事件もそうした延長にあるのではと感じたいです。

国内では、横浜FCのJ1昇格は国内重大ニュースのひとつです。全日空の撤退、フリーゲルスの解散ないしはマリノスへの吸収は、「Jリーグの危機」と語られた事件のひとつです。「地域に立脚して企業から脱却」というJリーグの理念のもろさが表面化したと私は考えています。フリーゲルス復活を願うファンが支えるクラブとしてスタートした横浜FCですが、あの事件から短期間でJ1昇格を成し遂げたことには大変驚きますし、敬意を表しますが、市民の支えるクラブとはならなかったなと感じています。また、その意味では「Jリーグの危機」はまだ去っていないのかもしれない。ところで余談ですが、横浜FCが昇格して、横浜ダービーが復活したわけですし、あの山口も横浜FCに加わったことですし、もう「横浜Fマリノス」の「F」の文字

は、もう要らないんじゃないかといったらまだ怒られてしまうのでしょうか。

地元横浜では、マリノスがみなとみらいに移り、みなとみらい線新高島の駅構内は駅名が「マリノスタウン」に変わったかと思うようです。横浜市サッカー協会もその近くに移りました。これからは新高島界限が横浜サッカーのもうひとつの拠点になることでしょうし、日産の本社が移転してくると益々その傾向に拍車がかかるのかもしれませんが。駅から至近ですし、私たちとしては東横線から直通と大変交通の便がよいので、大いに期待していきたいと思います。

以上で本年度最後の振り返りということで、次号からは前向きに書きます(笑)。

【シニアリーグ年間参加費の値上げ】

新年度 Rec・Comp の参加希望者を募った後の話で大変恐縮ですが、19年度の Rec・Comp の事務登録費と申しますが年間の参加費を、本年度の7,500円から8,000円に値上げをさせていただきます。理由はこれまでの参加費でまかなえずクラブが負担していた分の解消と試合数の増加に伴うものです。どうぞご理解とご協力をお願いします。なお、この費用は県のシニアリーグと市のシニア委員会の両方の参加に関する経費です。

(茅野 英一)

Mistral

昨年より主人と二人だけの生活になりました。「つかず離れず 3mの思いやり」という某ホームメーカーのCMがありました。まさにあのCMと同じ状況です(我が家は5m位あります)。このつかず離れずの距離をいつまでも持続するために、お互いに健康には留意しようと気を遣い始めました。体力の衰えはもとより頭の老化予防をと、今までゲーム機など触ったことの無かった私たちが、とうとう買いました!! 任天堂 DS!! 早速、「脳トレ」をやりましたが ガーン!! 夫婦揃って 80歳代と診断されました。以後、毎日トレーニングで、最近やっと 30歳代まで回復しました。

また、生活の中に「歩く・話す・笑う」の3要素がふんだんにあることが、心身ともに活性させると聞き、ボールを蹴り、走り、頭を使い(?)、仲間とのコミュニケーション等々、サッ

カーは老化防止にととても良いのだと再認識しました。コーチおよびチームの皆さん「亀の甲組」約2名、もう暫く、ボールを蹴っていたと思いますので、宜しくお願いします。

余談ですが、主人用に「しゃべるお料理ナビ」も購入しました。これから始まるであろう老老介護に備えて、家事全般も分け合うべく、着々と準備していこうと思っています。

(三留 志津子)

ヨーガ

早いもので、今年度も終了です。

よろよと立ち上げたヨーガのクラスですが、皆様のお陰でなんとか形になって参りました。水曜日クラス、金曜日クラスともになごやかに進めることができています。本当にありがとうございます。皆さんがそれぞれのペースでヨーガを楽しんでくださっていることを何よりうれしく思います。最近ではウエアやグッズ(ヨーガマットやヨーガブロック)にも凝る方もいらして楽しみも広がっているようです形も大事な要素ですね。

来年度もどなたにも楽しんでいただける身近なヨーガクラスとして、より充実した内容をご提供できますように、私自信も勉強を重ね皆様と一緒に成長していきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

(伊藤 玲子)

たわごと 理事長の戯言

サッカーを人様に教えるようになってかれこれ 27年。初めのうちはわけもわからず、ただ子供たちと一緒にサッカーをして遊んでいるような日々でした。やがて少しずつサッカー界が変わり始め、日本サッカー協会では指導の方向性が示されるようになり、自分の頭の中身も少しずつ整理されるようになってきました。Jリーグ発足とともに下部組織が立ち上がり、今ではトレセンも充実し始め、選手育成システムはかなり完成に近づきつつあるようです。それはそれで日本代表が強くなり、W杯で優勝を狙えるような国になることを思えばいい方向に進んでいると思います。

そうした時に、われわれのような街のクラブは何をなすべきなのでしょう? もちろんクラブの理念として「世界に通用する選手の育成」を掲げていますし、優秀な選手の発掘や育成を行うのは当然のことです。しかし、プロに

なれる選手はほんの一握りなのは周知の事実です。いえ、決して子供たちの夢をつぶそうとして書いているわけではありません。夢は追い求め、そのための最大努力は続ける必要があります。それは「叶うもの」ではなく、「叶えるもの」です。

要は、かながわクラブはプロ選手の育成だけを考えているのではない、ということをお願いいたします。 皆様はご存知

でした

ね。失礼しました。

ス

ポ

ー

ツ

に

は、す

る楽し

み、見

る楽し

みが

ありま

す。そ

れに

プラス

して

「支え

る楽し

み」が

あると

思うの

です。

スポー

ツボラン

ティア

などとよく言われ

ますが、

そういう

方々だけ

ではなく、

国際

試合の

運営や

警備、あ

るいは

審判、

統括

団体

職員

かながわクラブ・クラブ員専用の掲示板です。クラブからの重要なお知らせが記載されますので、まめにチェックしていただくと早く正確に情報が伝わります。

<http://8610.teacup.com/kanagawaclub/bbs>



携帯電話にメーリングリストが配信されない場合の対処について
携帯電話にメーリングリストが届かない場合「システムによる配信停止中」になっている可能性があります。そうなる皆様ご自身で解除していただかなければなりません。方法を下記しますのでご参考になさってください。

自分のメールアドレスをコピー <http://www.freeml.com/> に接続 「ユーザー登録」 メールアドレス等の必要事項を記入 確認のメールが届く 記載の URL にアクセスして登録完了 My Page にログイン 「ML管理はこちら(ML管理ページ)」 「配信の開始・停止の設定」

「加入中」にもかかわらず届かない場合、それぞれの携帯電話会社のメールサーバーには配信されていますので、ご自身のメール設定を変更してみてください。SPAM などのなりすましメールとみなされてしまい、携帯電話まで配信されないケースが多いようです。

また、ドメイン指定受信を設定していないか確認下さい。尚、参加している ML をクリックしたのち「この ML の情報」から「この ML から退会」することも可能です。

です。スポーツボランティアなどとよく言われますが、そういった方々だけではなく、国際試合の運営や警備、あるいは審判、統括団体職員など、職業でも存在します。もちろんサポーターもそうです。そういうところでも通用する優秀な人材を育てることも我々の使命だと思っています。

トップが Jリーグに上がり、それを支える人たちもみなクラブ OB。スポーツでつながる人の輪がいつもそこにある。素晴らしいと思いませんか? これは夢です。だから叶えるものなのです。(内田 佳彦)

事務局からのお願い!

毎年 4 月は事務手数料納入月です。保険料・登録料等に充当します。クラブ費とあ

わせて引き落とさせていただきますので、皆様ご了承のほどお願いいたします。

引落日:4/3(火)

金額(クラブ費にプラスされます)

*幼児・小学生・Papas・Mistral:2,000円

*JY・ユース:5,000円

*Top:6,000円

PapasでRecやCompに登録された方は上記プラス8,000円になります。

休部の方も事務手数料だけは引き落とさせていただきます。

